

**【絶対主従】無能な私のクビ撤回10分テスト**  
～声出し即解雇は、私を専属オモチャにする甘い罠～

**サンプル（一部抜粋）**

【高級ホテル・スイートルーム】

（ノック音）

「.....？誰だ？」

「.....入れ。」

（ドアの開閉音）

「お前には今日、クビを言い渡したはずだが？」

「どうやって俺がいる場所を知ったか知らないが...一体何の用だ？」

「...クビは困る...と？」

「.....仕事のスピードが遅い、成長が見られないと報告を受けている。  
俺の会社に無能は必要ないんだよ。」

---

「いいだろう、じゃあテストでもしてやろうか。  
合格すれば新しい配属先で飼い殺してやる。」

「（クスクスとバカにしたように笑う）喜んでるところ悪いが...  
脱げ。」

「え？じゃない。  
次から俺が言った事には1秒以内に従ってもらう。  
それが出来なければ、テストは不合格だ。いいな？」

---

「はは、どうしてこんなに濡れているのかな。  
強引なのが好きか？」

「そんなに必死で首を横に振って...  
お前の身体は証拠を出しているというのに。」

（くちゅくちゅと指でクリトリスをなぞる音）

「へえ...なぞるだけで腰がびくびくと動いている。  
どこまで声を出さずに頑張れるかな。」

（じゅるじゅると激しくクリトリスを吸う音）